

## 第3回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事録要約

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

**1.日 時** : 2012年6月5日(火) 19:30~21:30

**2.会 場** : 諫早市社会福祉会館第3会議室

**3.参加者** : 支援会：大山長崎市支部長 藤原運営委員長 クラブ：菊次専務 竹村氏 後援会：山内事務局長  
諫早市サッカー協会：緒方氏 応戸氏 一般参加者：5名(総計12名)

### **4.議 題** :

- (1) V・ファーレン長崎からの報告
- (2) 支援会からの報告について
- (3) 今後の公式戦スケジュールと集客について
- (4) V・VAREN 長崎後援会について

### **5.概 要** :

- (1) **V・ファーレン長崎からの報告**：トップ、U-18、U-15の現状とクラブライセンスについて説明があった。
- (2) **支援会からの報告**：
  - ①後援会、支援会、V-ist 共同による公式戦告知チラシ作成企画について報告された。
  - ②新大工商店街による応援横断幕、ステッカー、速報ポスター作成と夏祭り参加について報告された。
  - ③V・V 長崎公式戦観戦者アンケート 4/22分の結果報告と今後の実施予定(9/17)について報告された。
  - ④第2回支援会諫早部会よりクラブに対する提案・報告への回答について報告された。
    - ・試合運営の全般的改善→実行中。
    - ・ボランティア参加要件見直し→実行中。
    - ・市民FMなどの活用→実行中。
    - ・指導者講習会開催→シーズン中に開催したい。
    - ・諫早デー設置→検討。
    - ・7/25 諫早川まつり参加→参加予定。参加の方法を検討中。
- (3) **今後の公式戦スケジュールと集客について**：
  - ・7/8の公式戦で集客を目指す諫早デー設定の提案があった。
  - ・各郡市レベルの小規模な大会に選手やスタッフが顔を出すなど地道な取り組みが必要との意見が挙がった。
- (4) **V・VAREN 長崎後援会について**：
  - ・後援会の現状について説明があった。
  - ・現状の後援会システムの抜本的見直しが今後の成長へ向けて不可避との意見が挙がった。
  - ・現状のシステムで僅かでも会員口数を増やすには既存法人会員に一口増加依頼が効果的との意見が挙がった。

### **6.次回日程** :

第4回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会 8/7(火) 19:30~ 諫早市社会福祉会館第3会議室

以上

# 第3回 V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事経過及び所見

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

## 1. 議事経過及び所見：

### (1) V・ファーレン長崎よりの報告：

議事経過： V・ファーレン長崎の菊次専務よりトップチームの状況と今後の見通しに、あわせて U-18 が公式戦を戦った事、U-15 の大会成績などについて説明がなされた。また、クラブライセンス制度についてと今後のスケジュールの報告がなされた。

### (2) 支援会からの報告：

議事経過： 藤原運営委員長より後援会、支援会、V-ist 共同で公式戦告知チラシを作成する事が報告された。続いてサクセスパートナー新大工商店街で応援横断幕、ステッカー、試合速報ポスターが作成された事の報告があり、諫早でも展開していきたいとの抱負が述べられた。更に、8月第1週の金・土曜の、新大工最大のイベント「新大工商店街の夏祭り」に支援会として参加予定でクラブにも協力を求めている事が報告された。

続けて 4/22 公式戦 (vs 佐川印刷 (島原市営)) で公式戦観戦者簡易アンケートを実施した事が報告された。長崎市、島原市 (33%)、県央 (27%)、県北 (3%)、県外 (4%) という結果で 1 年前のアンケートと比較した所、島原市が 10%増加している事が確認された。ただし、依然として遠距離の長崎市の数字が高い事も確認され、佐世保からの来場者の少なさなど大きな変化は見られないとの意見が述べられた。

続いて、第 2 回支援会からの提案・報告についてのクラブ回答と現状が以下の如く報告された。

#### ①公式サイトへの公式戦会場の地図掲載とバックスタンドのトイレ環境改善

回答・現状：藤原運営委員長より支援会から後藤氏が参加して改善協力中との報告がなされた。

#### ②運営ボランティア参加者要件「長崎県在住者」の条件見直し。

回答・現状：竹村氏より、既に見直しを行っており公式サイト運営業者の対応待ちとの報告がなされた。

#### ③今後の V・ファーレンの広報・告知活動にラジオの活用。

回答・現状：竹村氏より諫早レインボーFM の番組に協力中である事が報告され、今後ケーブルメディアも含めて対応したいとの回答が行われた。

#### ④公式戦の集客の為に指導者講習会開催の提案。

回答・現状：長崎市で 4 種チームの指導を行っている一般参加者より指導者講習会は魅力的であるとの意見が述べられ、菊次専務よりシーズン中に開催したいとの回答が行われた。

#### ⑤ホームゲーム観戦ツアー及び諫早から集客を図る諫早デー設定の提案。

回答・現状：藤原運営委員長よりタビックス主催ホームゲーム観戦ツアー開催決定の報告があり、竹村氏より 40 人集ればバスを用意出来るとの説明もなされた。7 月の 3 連戦は長崎市民からの集客だけでは厳しいとの意見が挙がり、菊次専務も諫早デー設定の検討を回答した。

#### ⑥7/25 諫早川祭り参加に関する提案。

回答・現状：竹村氏より同祭りに参加予定である事が報告され、現在どのような形で参加すべきかを協議中であるとの回答があった。

### (3) 今後の公式戦スケジュールと集客について：

議事経過： 藤原運営委員長より、議事録前項記載の「指導者講習会開催」と「諫早デー」活用が提言された。特に諫早デーは鎮西高校出身の濱岡選手がエースとして活躍する栃木UVAと対戦する7/8の公式戦が効果的ではないかとの意見が出され、菊次専務より検討するとの返答が行われた。

同時にV・ファーレンが自分の住んでいる街にあるメリットをサッカーファミリーに知って貰う為、県内の高校やチームと練習試合等の提案がなされた。応戸氏より一部チームや学校とではなく、広く交流を図る重要性が説明され、強豪チーム中心の県協会主体の大会より、強豪ではないチームの参加が多い郡市協会主体の大会へ参加や交流も重視してはとの意見が挙がった。緒方氏より郡市協会主体の大会が非常に多い事、それらの情報は郡市協会と連携する事で得られる事が説明され、郡市協会と密接な連携をとるよう意見がだされた。

### (4) V・ファーレン長崎後援会について：

議事経過： 山内後援会事務局長より後援会について説明がなされ、会員増加と後援会の今後について協議を行った。藤原運営委員長より個人会員の収益性の低さが指摘され、特に家族会員は既に不採算部門と化している事が指摘された。あわせて後援会は寄付的要素の強い団体であるにも関わらず、ファンクラブ的対応を行っており、寄付団体としてもファンサービス団体としても中途半端な状態であるとの指摘がされた。

一般参加者より法人会員3口(9万円)のよりアシストスポンサー(10万円)特典の方が充実しており、クラブ関係者も法人会3口よりアシストスポンサーの優位性をセールスポイントにしている事が説明され、後援会の理念や方針が制度疲労を起こしており、抜本的見直し無しに改善はないとの指摘がなされた。他の参加者からもファンクラブを設立し後援会は法人向けの寄付団体へ特化すべきとの意見が相次いだ。

山内後援会事務局長より後援会の抜本的見直しの必要性は認識しているが、今季までは現状の制度で対応せざるを得ないとの説明がなされた。これに対して多くの参加者より現状の制度内で延命策を講じながら、今期中にファンクラブ設立と後援会改革を協議していくべきとの意見が挙がった。

一般参加者より現状の後援会制度の延命策としては、収益性の高い法人会員増加しかないとの意見が出された。法人会員は会員継続率が高く、これらの法人は特典ではなく寄付の感覚が強い事が指摘され、既存法人会員に対して地道な営業活動と丁寧な説明を行う事でもう一口加入して貰える公が高いとの意見が挙がった。ただし、地道な営業活動は時間と手間がかかる為に一定数の営業スタッフが必要であり、営業スタッフが足りない場合は、現スタッフが営業活動に専念出来る体制が必要との指摘もなされた。

### (5) 次回の支援会諫早部会の日程について：

議事経過： 藤原運営委員長より次回の「第4回 V・ファーレン長崎支援会諫早部会」の開催日を8月7日(火)の19:30に諫早社会福祉会館で開催するよう提案がなされ了承された。

(以上)

V・ファーレン長崎支援会運営部  
会長：平鍋公二  
vvnnsienkai@yahoo.co.jp